

令和7年度第5回小牧市上下水道事業経営審議会

1 日時

令和8年1月30日（金）午前9時55分から10時45分まで

2 場所

味岡市民センター 2階 視聴覚室

3 出席委員（敬称略）

榎本 訓康	公益財団法人愛知水と緑の公社	常務理事兼下水道部長
大野 泰典	税理士	
萩原 聡央	名古屋経済大学 法学部	教授
平山 修久	名古屋大学 減災連携研究センター	准教授
清水 正広	小牧市区長会	理事（文津区長）
谷口 里美	小牧市消費生活改善推進委員会	
廣野 友巳	小牧商工会議所常議員	（デリカ食品工業株式会社代表取締役）
岩崎 至	一般公募者	
馬場 容子	一般公募者	

欠席委員（敬称略）

酒井 美代子 小牧市女性の会 会長

4 事務局

笹尾 拓也	上下水道部長
三品 克二	上下水道部次長
横山 宗裕	上下水道施設課長
水野 芳広	上下水道業務課長
長坂 裕	上下水道施設課長
船橋 裕一	上下水道施設課長補佐
武藤 正寛	上下水道経営課経営係長

北 賢司 上下水道経営課水道経理係長
倉田 和典 上下水道経営課下水道経理係長
杉田 康明 上下水道経営課経営係主査
江口 奈穂 上下水道経営課経営係主事

5 傍聴者

1名

6 議事

(1) 水道事業ビジョン・経営戦略の改定について

7 内容

【事務局】

少し時間は早いですが、酒井委員から欠席のご連絡をいただいております、そのほかの委員はお集まりいただいておりますので、ただいまから審議会を開催させていただきたいと思っております。

それでは、ただいまから令和7年度第5回小牧市上下水道事業経営審議会を開催いたします。本日はお忙しい中、ご出席賜り誠にありがとうございます。

はじめに資料の確認をさせていただきます。事前にお配りした資料ですが、次第と資料1、資料2、資料3、資料4でございます。本日お持ちでない方がいらっしゃいましたら、事務局に用意がございますのでお申し出いただきますようお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、次第に従いまして進めていきたいと思っております。開催にあたりまして、上下水道部長の笹尾より挨拶を申し上げます。

【笹尾部長】

皆さん、こんにちは。

本日は、お忙しい中、令和7年度第5回小牧市上下水道事業経営審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。本日の審議会では、これまで審議いただいた「小牧市水道事業ビジョン・経営戦略」の改定について、12月16日から1月14日までパブリックコメント

を実施した結果と、令和6年度決算についてご報告させていただきます。委員の皆さまにおかれましては、様々な視点から活発なご議論をお願いいたしまして、簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、萩原会長よりご挨拶をいただきます。

【萩原会長】

本日の会議では、水道事業ビジョン・経営戦略の改定についてパブリックコメントの結果報告があるとのこと。今回をもって、水道事業ビジョン・経営戦略についての審議は終わりますが、忌憚のないご意見を委員の皆様からいただき、そして、実りのある会にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。甚だ簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。

【事務局】

ありがとうございました。続きまして、次第2、会議の公開についてであります。

小牧市審議会等の会議の公開に関する指針では、審議会等の会議は、原則として公開することとされておりますので、本審議会につきましても、公開とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。本日の傍聴者は1名です。なお、記録用といたしまして、随時録音させていただきますとともに、議事録につきましても、発言者名については非公開にした上で、市ホームページなどで公開させていただきますので、併せてお願いいたします。

ここで報告申し上げます。ただいまの出席委員は9名でございます。従いまして、小牧市上下水道事業経営審議会条例第6条第2項の規定により、この会議が成立しておりますことを報告いたします。なお、本日の会議の終了時刻は正午ごろを予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以後につきまして、小牧市上下水道事業経営審議会条例第5条第2項に基づき、会長が会務を総理することとなっておりますので、萩原会長にお願いしたいと思います。会議の議事の進行のほど、よろしくお願いいたします。

【萩原会長】

それでは、お手元の次第に基づいて進めたいと思いますので、委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。次第3の議事に入ります。

(1)水道事業ビジョン・経営戦略の改定について、を議事といたします。事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

資料1をご覧ください。前回の審議会まで審議いただいた水道事業ビジョン・経営戦略」の改定案についてパブリックコメントを実施しましたので、その結果をご報告します。

1のパブリックコメントの意見募集期間は12月16日火曜日から1月14日水曜日までの30日間でした。2の意見募集の周知方法としては、広報こまき12月号及び市のホームページで周知しました。3の資料閲覧場所ですが、市役所本庁舎1階の情報公開コーナー、上下水道経営課の窓口、北里、味岡、東部の3市民センターの窓口と図書室、南部、西部のコミュニティセンターの7施設、10か所に設置し、市のホームページで公開しました。4の提出された意見の件数、提出方法ですが、1名の方から1件の意見がメールにて提出されました。

裏面をご覧ください。5の提出された意見と市の考え方についてであります。意見としましては「財政シミュレーションをみると69%の引き上げになっている。あまりにも市民負担が大きすぎる。水道料金が払えず水が使えなくなる事態があってはならない。国や県の補助金はもちろん、市からの一般会計繰り出しをして、市民負担を極力軽減すべきだ。」とのご意見でした。

意見に対する市の考え方回答であります。「水道事業は公営企業であることから独立採算を原則としており、事業運営は水道料金収入で賄う必要があります。そのため、効率的・効果的な事業運営を行いながら、国庫補助金を積極的に活用することや企業債の活用を検討するなど、財源の確保に努め、市民負担が少しでも軽減できるよう検討してまいります。」と回答をさせていただきたいと考えております。

なお、パブリックコメントの実施結果につきましては、広報こまき3月号でいただいた意見の件数について報告し、資料閲覧場所である7施設、10か所及びホームページにて、3月3日から6月2日までの3か月間、公開する予定です。

説明は以上です。

【萩原会長】

事務局の説明は終わりました。

ご質問、ご意見などがございましたら、発言をお願いいたします。なお、発言いただく場合は、挙手していただき、お名前をお呼びいたしますので、その後にご発言してください。

【A委員】

提出された意見が1名から1件で、閲覧場所で5か所ということですが、市のホームページとかは、どのぐらいアクセスがあったのかとか、或いは閲覧場所で何人見たかを数えるのは難しいと思いますが、資料に折り目がついているとか、何か、どのぐらいの市民の方に見ていただいているのか、分かるものがあれば教えていただければと思います。

【事務局】

ホームページの閲覧数については、調べていないので何件あったかは申し訳ありませんが、今回、ホームページにパブリックコメントの詳細の説明動画を初めて掲載しております。先日、そちらをどれぐらい件数があるか調べたときがあったのですが1月の頭ぐらいに見たときに、それでも120、130ぐらいの件数の閲覧がありました。それは興味もありましたので、どれぐらい見られているかなというのはありました。そちらのパブコメのツボという動画については、1年半ばぐらいのところ130件ほどの閲覧があったというのは承知しております。あと、施設で折り目がついているかどうかというのは、まだ資料が戻ってきておりませんので、申し上げられません。よろしくお願いします。

【萩原会長】

こちらに提出されたものを今後、意見に対する市の考え方、市の回答としてホームページ等に掲載するということですので、この点について、よりよい意見があれば、仰っていただければと思います。

【萩原会長】

パブリックコメントそのもの自体について、1件というのが多いか少ないかということ

なのですが、小牧市がパブリックコメントについて掲載してもなかなか意見が出てこない
ので、パブリックコメントにもっと市民の方からいろいろな様々な意見をいただけるよう
な取り組みを、この水道事業だけでなく、市としてやっていかなければいけない。これ
はもう今後の課題かなと思いますが。今後、本件については、このような形で回答する
ということでございます。

それでは、他に意見もないようですので、議論はここまでいたします。

続いて次第4の報告に移ります。(1) 上下水道事業の令和6年度決算について事務局
から説明をお願いします。

【事務局】

資料2、資料3、資料4をご覧ください。これまで、決算報告については資料4の決算
資料で説明しておりましたが、専門用語が多く、枚数も多いため要点がわかりづらいと
ご意見をいただきました。そこで、水道事業、下水道事業それぞれでA3資料1枚で要点
をまとめましたので、そちらを主に説明させていただきます。

まず、資料2をご覧ください。「小牧市水道事業の令和6年度決算の概要」です。

左上の「1. 概況」であります。人口減少の影響により徐々に給水人口が減少してい
るものの配水量、有収水量は令和6年度は令和5年度に比べ若干増加しました。大口需要
家の使用が増えたことによるものです。また、有収率は90%以上を確保しています。

続いて「2. 令和6年度の主な事業」であります。前年度から継続して幹線耐震ルー
プ化計画(ループ管)事業、送水管整備事業を実施しております。なお、幹線耐震ルー
プ化計画(ループ管)事業につきましては、令和6年度でループ管の整備が完了し、現在は
管全体の供用に向け洗管作業を進めているところです。

右ページをご覧ください。水道事業ビジョン・経営戦略で定めた経営目標の達成状況で
す。まず、(1) 単年度純利益の継続であります。目標である黒字の維持を令和6年度
も達成しております。次に(2) 適正料金の確保であります。料金回収率100%以上の目
標に対して令和6年度決算の料金回収率は98.57%と目標値を下回っており、早々に適正
な水道料金を検討する必要があります。続いて、(3) 内部留保資金残高の確保でありま
すが、資金期末残高20億円以上に対して令和6年度末の29億円で、目標値は達成したもの
の、令和5年度末から9億円余減少しております。最後に、(4) 老朽管の更新(耐震
化)であります。計画期間の平均で管路更新率1.0%以上という目標に対してここ5年

間は0.6%を超えておりません。これまでの審議会で審議してきたとおり、1.0%以上を達成できるように体制を整える必要があります。

続いて資料3をご覧ください。次に「小牧市下水道事業の令和6年度決算の概要」になります。

左上の「1. 概況（公共下水道）」であります。供用開始区域の拡大によりに水洗化人口は増加し、処理水量、有収水量についても、令和6年度は前年度から若干増加しました。また、有収率は80%未満が続いており、不明水対策が必要です。

続いて「2. 公共下水道の供用開始の状況」です。供用開始とは、下水道が使用可能になることを指しますが、地図の水色のところが令和5年度末時点で下水道が使用可能な区域、緑色が現在、整備工事を進めている区域、赤色が令和6年6月1日に供用開始した区域になります。令和6年度は久保一色と下小針中島の一部、26haで供用開始をしました。供用開始人口は495人増加し、人口普及率78.92%となりました。

右ページをご覧ください。長期経営計画で定めた目標の達成状況です。まず、(1) 全体計画の達成率であります。令和13年度までに90%、令和24年度に100%という目標に向けて、整備を進めています。令和6年度は64.2%となりました。次に(2) 一般会計繰入金であります。令和6年度も9億円を超える基準外繰入金がある状況です。また、(3) 公共下水道の経費回収率も、令和6年度は59.9%と目標の100%を達成できていませんが、こちらは2回の使用料改定により令和13年度までに目標を達成したいと考えております。

令和6年度決算の概要については以上ですが、資料4について、追加の説明をさせていただきます。資料4の1ページをご覧ください。こちらは水道事業になりますが、資料2の概要で説明した水道事業の概況ですが、自己水率、供給単価などを補足で追加しています。

1枚めくって2ページをご覧ください。令和6年度の主な事業ですが、普及活動として、6月1日から7日までの水道週間の啓発として愛知の水の配布、修繕・改築として横内浄水場の水質改良施設充填材取替修繕及び場内整備工事を実施しました。また、(2) 配水管の総延長には配水管の整備状況、(3) 更新延長、管路経年化率、管路更新率には管路の更新状況を掲載しています。

1枚めくって4ページからは決算報告になります。4ページは収益的収入、5ページには収益的支出になります。資料2の概要でも説明しましたが、令和6年度は約1億4千9百万円の黒字となりました。1枚めくって6ページは資本的収入、7ページには資本的支出

になります。資料2の概要でも説明しましたが、キャッシュフロー計算書での資金期末残高が前年度から9億円余減少しています。1枚めくって8ページは貸借対照表です。

9ページは水道事業ビジョン・経営戦略の基本目標の達成状況です。令和6年度の数値が薄い緑色になっているのは目標を達成しているものになります。水道事業ビジョン・経営戦略の改定の審議でもご説明しましたが基本目標2のうち管路の更新率が1.0%を下回っているのが課題です。

1枚めくって10ページをご覧ください。水道事業ビジョン・経営戦略の経営目標の達成状況です。こちらは、資料2の概要でご説明したので説明は省略します。11ページも経営目標の続き、1枚めくって12ページはその他の指標として企業債の状況を掲載しています。

水道事業は以上になりますが、続いて下水道事業の説明に移ります。

13ページをご覧ください。資料3の概要でご説明した公共下水道事業の概況です。使用料収入などを補足で追加しています。

1枚めくって14ページには農業集落排水事業の概況を掲載しています。

15ページをご覧ください。令和6年度の主な事業ですが、普及活動として、ウォーキングアプリalkoを利用した下水道の日チャレンジ企画、市民センター等の公共施設への啓発用トイレトペーパーの設置をしました。また、他市町との共同事業として、マンホール点検業務の共同発注を実施しています。ハード事業としては、汚水管の新設工事、更新工事のほか、桃花台汚水中継ポンプ場の改築更新詳細設計を実施しました。(2) 下水道管渠の総延長には管路の整備状況、(3) 管更生、管渠老朽化率、管渠改善率には管路の更新状況を掲載しています。

1枚めくって16ページは(4) 供用開始区域の推移であります、資料3の概要でご説明した通りです。

17ページからは決算報告になります、17ページは収益的収入、1枚めくって18ページには収益的支出になります。下水道事業は資金不足分を一般会計から基準外繰入金としてもらっているので純損益はゼロになります。19ページは資本的収入、1枚めくって20ページには資本的支出になります。21ページは貸借対照表です。

1枚めくって22ページは長期経営計画の進捗ですが、資料3の概要でご説明したので説明は省略します。23ページも長期経営計画の進捗の続き、1枚めくって24ページはその他の指標として経常収支比率と企業債の状況を掲載しています。

最後に25ページですが、国庫補助金を活用するために作成した社会資本整備計画の進捗状況です。「(1) 小牧市における良好な水環境の形成(重点計画)」は污水管新設事業を対象にした計画で、計画期間は令和3年度から令和7年度です。一部の地域の整備が遅れており令和7年度末の普及率81%の目標達成は難しい状況ですが、令和8年度末には目標は達成できる見込みです。次に、「(2) 小牧市における良好な水環境の形成と浸水対策による被害の軽減(防災・安全)」は桃花台污水中継ポンプ場更新工事を対象にした計画で、計画期間は令和2年度から令和6年度です。計画では令和6年度から工事に着手する予定でしたが、耐震診断が必要になったため、着手が遅れてしまい、計画目標は達成できませんでしたが、令和7年度以降も新たな計画を策定し、令和10年度までには工事を完了する予定です。

説明は以上です。

【萩原会長】

事務局の説明は終わりました。ご質問、ご意見などがございましたら、発言をお願いいたします。

【萩原会長】

それでは私から1つお尋ねします。資料2と資料3というのは概要版ということですが、これは資料4の概要っていうことで理解してよろしいでしょうか。その上で、例えば資料2と資料3をそれぞれ見ていくと、概況、そして令和6年度の主な事業と経営目標ビジョンという形で書かれていますが、決算報告の内容については、この概要版の中で示されているのかどうか。例えば水道事業ですと、資料4、4ページのところに決算報告がございますし、下水道事業に関しましては17ページ以降で決算報告が記載されております。こちらについては概要には必要ないのでしょうか。

【事務局】

まず水道事業につきましては、決算のいわゆる黒字赤字の部分につきましては、ビジョンのほうでも、単年度純利益の継続というところで、実際に純利益として1億4,900万円が出ています。中の細かいところはこの資料4の方で見ていただく形になるんですけども、下水の方につきましては、確かに会長おっしゃられるように、実際に決算、いわゆる

収益的収支の決算額ゼロになりますが、そちらは概要版に掲載していませんので、こちらについては今後、修正させていただきたいと思います。経費回収率のところで使用料単価などがありますが、実際に、いわゆる決算の収入がいくらで支出がいくらで、結果損益はいくらかということが、確かに記載はされておられません。決算としてわかりづらいところがあるかなというのは、改めて思います。ありがとうございます。

【萩原会長】

なかなかこのキャッシュフローや貸借対照表を見ても、すぐには理解できない。そのところの知識がなくても、決算報告についても概要の記載があって、そして資料4の詳細資料を見ればわかるという形で、概要を作っていたらとわかりやすいと思いますので、よろしく願いいたします。

【A委員】

2点、伺いたいと思います。

1点は水道の方で、老朽化耐震化の更新に関して、1.0%が未達ということですが、これは令和8年度まではループ管事業をしっかり進めようということで、口径の大きいところを比較的更新されているので、口径が大きいと距離当たりの単価の価格も大きくなり、距離が稼げないので未達だという理解でよろしいですか。口径が大きいループ管事業が終わった後は、口径の小さいところの更新に事業費を回せるようになるので、その時には1%は達成できるようになるという理解でよろしいでしょうかというのが1点目です。

2点目は下水道の方ですが、下水道は基準外繰入金を何とかしていかないといけないところはそうですが、もう1つの目標という意味からすると、例えば、下水道の主なところで言うと、やはり水環境と重点計画、資料4の25ページにもありますが、水環境の形成について、事業としては補助対象事業費や普及率がどうなのかということですが、例えば排水の水質であるとか、何かそういった具体的な水環境について、下水道自体が公共水域の水質保全といったようなことも目的の1つであると思いますが、小牧市が直接ではないかもしれませんが、下水道事業をやることによって、伊勢湾や木曾川流域の水質が保全されているというようなことを市民にわかっていただく指標も、何かあってもいいのではないかと思います。普及率と補助対象事業だけでない指標も、小牧市が市民に使用料を負担していただいて、きちんと下水道事業をやっているからこそ、下流域の市町や伊勢湾の

水環境がしっかりと将来にわたって保たれていくのだという、そのようなことがわかる指標もぜひ今後は検討いただきたいには思います。

【事務局】

1点目の更新率が目標に満たないという話ですけれども、委員がおっしゃられたように、ループ管や送水管などの大口径の工事の方を進めているということが1点と、ビジョンの中でもずっとお話してきたかと思いますが、1%を目標にやっていこうと思うと、財源的に厳しい、それに尽きるということです。

2点目はおっしゃられることはよくわかりましたので、そういった数字が出せるのかどうかも含めて今後検討していきたいというふうに考えております。

【A委員】

特に1点目の方は、市民の方にどうやってそれを伝えていくのかという、未達ということだけを出してしまうのではなく、何でこういう状況になっているかというところを、どうやって伝えていくかということは、ぜひ、検討していただくようお願いできればと思います。

【萩原会長】

それでは、その点を市民の方にもわかりやすいように、周知できるように検討してください。お願いいたします。

【B委員】

資料4の2ページの下段ですが、配水管の更新延長と管路経年化率と管路更新率が出ていますが、管路、経年化率が令和5年度に対して令和6年度は1.26と増えているわけですね。それに対して管路更新率が、0.5から0.47に下がっているわけです。この辺について、更新率が追いついてないということは毎年、経年化率が増えていく傾向にあるのではないかと思いますので、その辺の見込みというか、指標はどのぐらいでバランスが取れるかお聞きしたいです。

【事務局】

まず。経年化率が年々伸びているというのは、先ほどもお答えしたように、管路延長の更新が伸びていないというのが1つの要因にもなります。こちらの経年化率が、確かに審議会の審議の中でも、このままいくと、50%から60%になってしまうところから、今後、料金改定をさせていただいて、資金を何とか集めながら更新を進めていく。20年間で1%というのを現行のビジョンは想定しておりますけれども、20年間で1%を達成できていれば、経年化率もあまり右肩上がりのような形では伸びていかないと思っております。経年化率が50%、60%になると、半分以上の管が、耐用年数を超えているということになりますので、そちらを防がないといけないということで、水道事業ビジョン・経営戦略の改定のときに、お金をいかにして貯めて更新していくのかということシミュレーションしております。

【C委員】

B委員からの質問が関係してくると思いますが、実際に遅れているのは大きな管を更新しているからだということを、市民の方がわかるようにしていただければいいのかなと思いました。

資料4の18ページ、今後、使用料改定が控えていて、現在は足りない分は一般会計から繰入金を入れているということが示されていますが、収益的収支の計算のところだけ見ていると、出来るじゃないかという話になってしまうものですから、やはりその繰入れが難しくなっているのだということを、何かここで表現ができないものかと思いますが、そういったことは可能なのですか。

【事務局】

確かに損益がゼロということは、マイナスではないと、結果としてそういうふうに見えてしまうというのはありますので、確かに繰入金が一般会計の方がお金があるのであれば、今まで通りも可能かと思いますが、そちらの方は財政部局とも話をして、今後、どのような形で繰出しをいただけるかというのも考えていかなければいけないところがあります。使用料については令和7年の10月に改定して、12月から使用料収入が増加しております。ここでご報告させていただくと、改定率30%で使用料を改定させていただきまして、12月は約30%程度の収益増が確保できましたので、今後、このような形でまず使用料改定を、2回目を数年後に予定はしておりますけれども、そちらの方もお金を持ちながら今度はそ

うなりますと、収益的収支の方は今度、一般会計からの基準外繰入れがなくてもプラスになっていく、プラスになるからこそ、それが投資に回していけるというような形になっていくようなものになると思います。ですので、7年度の決算はまだ一般会計からいただかないとゼロにはなりませんので、確かにC委員がおっしゃられるように、実質はマイナスですよというのはどこかでわかるようにはしておいたほうがいいかなというのちょっと思いますので、今後またこの使用料改定をしたことで、どのような形になるか結果を見ながら、そのような部分が必要であれば、記載していきたいと思います。

【C委員】

2点目に、下水道の整備による水環境における成果を何か出したらどうかという話がありましたけど、尾張建設事務所のホームページ見ていただくと、県の環境基準というのがありますので、そこに、小牧市だけではないのですが、流域に関連する下水道整備等、水質の関係のグラフがつけてありますので、そこには明らかな相関があって、下水を整備することで川が綺麗になったというのはよくわかりますので、参考にしていただければと思います。

【事務局】

ありがとうございます。尾張建設事務所のホームページも参考にさせていただいて、やはり流域下水道で汚水処理をしているということもありますので、県の流域下水道の方と関連づけた形で考えていきたいと思います。

【萩原会長】

C委員からの補足の説明やA委員のご指摘ですが、これはビジョンの中でもSDGs関係の目標にもあった水質環境に関するものに対する効果という点でも、小牧市の水道事業、下水道事業をしっかりと考えていくということがわかるようにしておくとういように思いました。あと1つは、先ほどC委員がおっしゃったように、会計の知識がないと、この収益的収支の純損益がゼロなら、正常だから適正だと思ってしまうかもしれないですし、一般会計と企業会計というのがなかなかわかりにくくて、一般会計からの繰入れをしておけば大丈夫という認識をしてしまいましたが、実際はそういう方針ではないということ、下水道事業は企業会計だから独立採算でしっかりやっっていかなきゃいけないという方針だから、

この点についても、市民の皆様のご理解いただけるような、そうした周知も今後必要になってくるかと思いました。

他に意見もないようですので、次第4のその他に移らせていただきます。事務局から何かありますか。

【事務局】

今後の予定ですが、今回、審議いただいたパブリックコメントにつきましては、3月3日から6月2日までの3か月間、公共施設やホームページにて閲覧できるように設置する予定です。また、水道事業ビジョン・経営戦略の完成品については3月末までに策定予定ですので、準備が整いましたら委員の皆さんには郵送する予定です。

また、本日の会議録でございますが、事務局で作成次第、委員の皆様へ送付させていただきますのでご確認をお願いしたいと思います。その後、市のホームページで公開させていただきます。

なお、前回の審議会でご了承をいただきましたが、3月末で委員の任期が終了となります。4月からの委員について、それぞれの団体を通じてお願い等させていただくことになるかと思っておりますので、よろしく申し上げます。

【萩原会長】

ただいまの説明について何か質問等ございますか。よろしいでしょうか。

それでは以上をもちまして、本日予定された議題は終了しました。皆様方には議事進行にご協力感謝申し上げます、事務局の方にお戻ししたいと思います。よろしくお願いいたします。

【笹尾部長】

委員の皆様、長時間に渡り、ご審議いただきまして、ありがとうございました。

会長の初めの挨拶にもありまして、今回の審議会を持ちまして「小牧市水道事業ビジョン・経営戦略」の改定についての審議は終了となります、また、前回の審議会でご承いただきましたが、委員の任期を本年3月末までとさせていただきますので、今回が最後の審議会となります。令和4年度から引き続きの委員の方も多いと思いますが、大変お世話になりました。改めてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

また、現在、令和8年度以降の市民公募委員を2名募集しております。締め切りが2月5日となっておりますので、お知り合いで興味のある方などがおられましたら宣伝をしていただき、ご応募いただければ幸いです。また、引き続きの応募についても大歓迎でありますので、よろしく申し上げます

それではこれもちまして、令和7年度第5回小牧市上下水道事業経営審議会を閉会いたします。お帰り際には、くれぐれも交通事故にお気をつけいただくようお願いいたします。ありがとうございました